

《研究課題名》

偽中皮腫性肺癌のゲノム DNA 解析

2023 年に滋賀医科大学において病理解剖した、偽中皮腫性肺癌の患者さまのご遺族さま

《研究対象者》

2023 年に滋賀医科大学において病理解剖した偽中皮腫性肺癌の患者さま

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報および病理解剖時に得られた組織を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただき、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2026 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 ；病理学講座・准教授・石垣宏仁

（2）研究の意義、目的について

《意義》

稀な肺癌の組織型である偽中皮腫性肺癌における癌遺伝子の特徴を明らかにする点です。偽中皮腫性肺癌が、悪性中皮腫に似通った遺伝子変異を有するのか、または原発性肺癌と同様の遺伝子変異を有するのかを明らかにすることで、「偽中皮腫性肺癌は悪性中皮腫から生じた肺癌類似の悪性腫瘍」であるという仮説の可能性を検討することが出来ると考えます。

《目的》

偽中皮腫性肺癌の患者に肺癌組織からゲノム DNA を抽出し、偽中皮腫性肺癌に特徴的な癌遺伝子の特徴と原発性肺癌、または悪性中皮腫との相違を既知の報告されている遺伝子異常との比較により明らかにします。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

病理解剖によって得られた肺癌組織を用います。肺癌のパラフィン切片からレーザーマイクロダイセクションにより癌のみを集め、ゲノム DNA を抽出する。レーザーマイクロダイセクションは大阪大学大学院医学系研究科附属共同研究実習センターの機器を用いて研究責任者が行う。抽出したゲノム DNA をもちいて、肺癌と悪性中皮腫をふくむ既知の癌遺伝子変異についてパネルシーケンスを行います。（外注：株式会社ファーマフーズ キャンサーパネルシーケンス；Axen Cancer Panel 2）

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

血液検査結果（CEA、CA19-9、SCC、NSE、SLX、Pro GRP、結核菌検査）、胸水検査結果（ADA、ヒアルロン酸、LDH、CEA、CA19-9、SCC）、胸部 CT 画像、病理解剖時にえられた臓器写真、組織写真等カルテ情報と病理解剖時に得られた組織を用います。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

また、検査委託先へ組織を送る際も誰のものであるか分からない状態にします。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 病理学講座 疾患制御病態学部門 氏名 石垣 宏仁

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2172

メールアドレス：ihiro@belle-shiga-med.ac.jp